

議事概要

1. 日時 令和5年11月16日(木) 10時00分～12時00分
2. 場所 札幌第1合同庁舎 10階1, 2号会議室
(札幌市北区北8条西2丁目)

3. 出席者
[委員長]
高橋 清 北見工業大学 教授
[委員]
岡田 美弥子 北海道大学大学院 教授
加藤 由紀子 北海商科大学 教授
菅井 貴子 気象防災キャスター

4. 議 事
【審議】 計画段階評価について
・北海道横断自動車道 別保～尾幌 第2回目
・北海道縦貫自動車道 中川～天塩 第2回目

【報告】 新たな国土形成計画と高規格道路ネットワークのあり方中間とりまとめ等について

【委員からの主な意見】

- ・物流や医療では時間短縮が重要であるが、観光ではこれに加え目的地への定時性確保が重要である。
- ・道北の物流は、搬入・搬出それぞれに対してどこからどこへ行くのか把握することが重要であるため、第2回地域意見聴取の際に確認すること。
- ・今回に限った話ではないが、現道改良案の場合、既存の構造物を使用するケースがあり、そのような場合はすぐに補修費用がかかる可能性があるため、建設費だけでなく老朽化対策費用も考慮すべきではないか。
- ・アンケート項目を簡潔にするとともに、一般の方が理解しやすい表現等を使用した方がよい。

【委員長による総括】

【審議】

- ・頂いた意見を踏まえ、第2回地域意見聴取を進めていただきたい。

【報告】

- ・人口減少の加速による地方の危機、巨大災害リスクの切迫など、我が国が直面するリスクの話がありましたが、北海道の人口減少は全国よりも10年先に進展、日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震の発生リスクも高まっている状況下において、ワイズネットを実現することは、北海道にとっても非常に重要である。
- ・しかしながら、北海道は、まだまだ必要な高規格道路が整備されておらず、「食」・「観光」を担う「生産空間」の維持・発展はもとより、北海道のポテンシャルを全国へ波及させるためには、早期整備・機能強化が必要である。
- ・是非、速やかに国による高規格道路として指定し、早期のネットワーク機能を確保していただきたい。

以 上